2024年度（令和6年度）子どもが主体となった体力向上計画

福山市立坪生小学校

2024年度（令和6年度） 新体力テストの結果

児童質問紙（第5学年）

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	73.8	21.4	0.0	4.8
女子	58.0	20.0	18.0	4.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	81.0	11.9	4.8	2.4
女子	68.0	22.0	8.0	2.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか（体育の授業をのぞく）

	週に3日以上	週に1～2日くらい	月に1～3日くらい	しない
男子	54.8	33.3	7.1	4.8
女子	42.0	32.0	10.0	16.0

体力・運動能力（第5学年）

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.62	17.73	29.07	35.66	47.64	8.92	147.25	20.12	51.08

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
女子	16.56	14.27	34.00	34.42	29.79	9.21	141.58	14.00	50.69

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

【重点課題】
・「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか。」の否定的回答が男子4.8　女子22.0であり、女子が大きく上回っている。
【要因】
・運動で楽しさや良さを感じることができていない。

体力面

【重点課題】
・男女ともに県平均と比較して「長座体前屈」（男子－4.24　女子－3.64）「反復横跳び」（男子－4.85　女子－4.16）において大きく下回っている。
【要因】
・運動する機会が少なく、機能低下につながっている。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・授業の中に遊びの要素を含む運動を取り入れることで、意欲を向上させたり、苦手意識を取り除いたりする。
・児童が自ら考えながら活動を行うことで、思考力と体の巧緻性を高める。
・運動量の確保をすることで、経験を増やし、機能や体力向上に努める。

体育の授業以外で行う取組内容

・体育委員会を中心に、楽しみながら体力向上を図ることのできる取組を通年で行う。（リズムなわとび、おにごっこ遊び、なわとび大会等）
・長期休暇において、家でも取り組める運動例を紹介する。
・隙間時間や家庭で気軽にできる体操や柔軟を紹介し、普段から自主的に運動する児童を育てる。また、家庭とも連携することで学校と家庭で共通意識をもつ。

2025年度（R7年度）の重点目標値

・「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか。」という質問に対する否定的な評価を男子3%以下、女子15%以下にする。
・体力テストにおいて、男女ともに「長座体前屈」を県平均以上にする。
・県平均を上回る種目を男女ともに5種目以上にする。